



**Elysium**  
**3D-SUITE™**

**Elysium 3D-SUITE EX11.0.2**  
**リリースノート**

2026年3月  
株式会社エリジオン

## 目次

1. EX11.0.2 で更新される製品.....	3
2. 主な対応項目 .....	4
2.1. Component 製品.....	4
3. 機能改善 / 仕様変更 / 不具合修正 .....	6
3.1. 製品共通.....	6
3.2. Front-End 製品 .....	6
3.3. Component 製品.....	6
3.4. Utility Tool .....	10
4. 特記事項 / 制限事項 / 既知の問題点.....	10
4.1. Component 製品.....	10
5. サポート CAD バージョン一覧 .....	11
6. 著作権とライセンス .....	12

## 1. EX11.0.2 で更新される製品

分類	製品		
Front-End 製品	Viewer		
	SmartLauncher (Standalone) *		
	SmartLauncher (CAD Plug-in) *		
	SmartController		
	SmartController Pro		
	TransServer		
	WorkerNode		
	Inspector *		
Component 製品 (Adapter)	CATIA V5 (Plug-in)	Importer	Exporter
	3DEXPERIENCE (Plug-in)	Importer	Exporter
	NX (Plug-in)	Importer	Exporter
	NX (Standalone)	Importer	
	Creo Parametric (Plug-in)	Importer	Exporter
	Creo Parametric (Standalone)	Importer	
	SOLIDWORKS (Plug-in)	Importer	Exporter
	Autodesk Inventor (Plug-in)	Importer	Exporter
	Solid Edge (Plug-in)	Importer	
	iCAD SX (Standalone)	Importer	Exporter
	STEP (Standalone)	Importer	Exporter
	JT (Standalone)	Importer	Exporter
	QIF (Standalone)	Importer	Exporter
	3DXML (Standalone)	Importer	
	DWG (Standalone)	Importer	
	XPDMXML (Standalone)	Importer	Exporter
	3D PDF (Standalone)	Importer	Exporter
HTML (Standalone)		Exporter	
Component 製品 (Optimizer)	DFX Analyzer		
	PMI Checker		
	CAD Validator		
	Drawing Validator		
Utility Tool	Setting Utility *		
	Data Package Studio *		
	Validation Configurator *		

※(\*)付きの製品はライセンスフリー

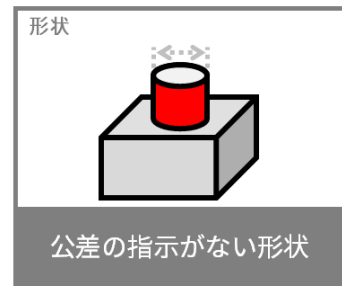
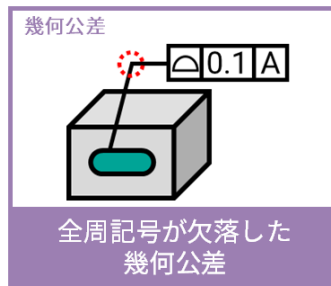
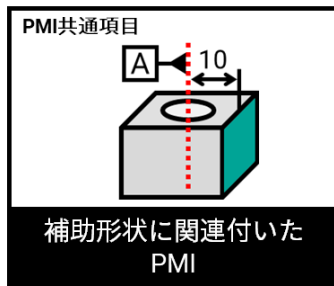
## 2. 主な対応項目

各製品の主な対応項目は以下の通り。

### 2.1. Component 製品

#### (1) PMI Checker

- 新たな検証項目を追加しました。
  - PMI 共通の検証項目
    - PMI Associated with Supplemental Geometry  
PMI がデータム軸などの補助形状に接続していないかを検証します。
  - 幾何公差に対する検証項目
    - Missing All Around Symbol  
幾何公差に全周記号が設定されていない場合に、その設定が必要かを検証します。
  - 形状に対する検証項目
    - Untoleranced Surface  
モデルに含まれる全てのフェースに公差が設定されているかを検証します。



#### (2) 3DEXPERIENCE (Plug-in) Importer / Exporter

- オンプレミス版に加えて、3DEXPERIENCE Cloud に対応しました。

- (3) 新 CAD バージョン / ファイルバージョン対応
- CATIA V5 (Plug-in) Importer / Exporter  
R36(V5-6R2026)サポート
    - サポート対象 : R33 – R36(V5-6R2026)
  - 3DEXPERIENCE (Plug-in) Importer / Exporter  
R2026x サポート
    - サポート対象 : R2023x – R2026x
  - NX (Plug-in) Importer / Exporter  
NX 2512 Series サポート
    - サポート対象 : NX 1926 Series – NX 2512 Series
  - NX (Standalone) Importer  
NX 2506 Series、NX 2512 Series サポート
    - サポート対象 : UG10 – NX 2512 Series
  - Creo Parametric (Standalone) Importer  
Creo Parametric 12.4 サポート
    - サポート対象 : 2000i – Creo Parametric 12.4
  - SOLIDWORKS (Plug-in) Importer / Exporter  
SOLIDWORKS 2026 サポート
    - サポート対象 : 2022 – 2026
  - Autodesk Inventor (Plug-in) Importer Drawing Option  
Inventor 2026 サポート
    - サポート対象 : 2023 – 2026
  - Solid Edge (Plug-in) Importer  
Solid Edge 2026 サポート
    - サポート対象 : 2022 – 2026
  - iCAD SX (Standalone) Importer / Exporter  
V8L4 サポート
    - サポート対象 : V7L1 – V8L4
  - 3DXML (Standalone) Importer  
R2026x サポート
    - サポート対象 : R2010x – R2026x

- (4) Windows 10 のサポート終了に伴う CAD バージョンサポートの終了  
マイクロソフトによる Windows 10 のサポート終了に伴い、3D-SUITE における以下の CAD バージョンの正式サポートも終了します。該当バージョンの動作モジュールは 3D-SUITE に含まれますが、動作については正式サポートの対象外となります。

CATIA V5 (Plug-in)	R27(V5-6R2017) – R32(V5-6R2022)
3DEXPERIENCE (Plug-in)	R2018x – R2022x
NX (Plug-in)	NX 1847 Series – NX 1899 Series
NX I-deas (Plug-in)	6.6 – 6.8
SOLIDWORKS (Plug-in)	2018 – 2021
Creo Elements/Direct (Plug-in)	20.0 – 20.3
Autodesk Inventor (Plug-in)	2019 – 2022
Solid Edge (Plug-in)	2020 – 2021

### 3. 機能改善 / 仕様変更 / 不具合修正

各製品の変更点は以下の通り。カッコ内の数字はお問い合わせ時の SupportID です。

#### 3.1. 製品共通

- |     |  |
|-----|--|
| (1) | 3D-SUITE EX11.0.2 を使用する際のライセンスサーバーは、Elysium License Server 2025.3.1 をご使用ください。旧バージョンのライセンスサーバー (Elysium License Server 2025.2.1 等) でも 3D-SUITE EX11.0.2 を使用することは可能ですが正式サポートの対象外となります。Elysium License Server 2025.3.1 へのアップデートを未実施の場合には、ライセンスサーバーをアップデートした上で 3D-SUITE EX11.0.2 をご使用ください。 |
|-----|--|

#### 3.2. Front-End 製品

- |     |  |
|-----|--|
| (1) | SmartLauncher (CATIA V5 Plug-in)<br>- オンメモリー変換を行うと CATIA V4 モデルを含むモデルの変換が終了しない問題を修正しました。(00084893)   |
| (2) | SmartLauncher (SOLIDWORKS Plug-in)<br>- DFX Analyzer の DFA 検証結果の表示において、SOLIDWORKS 側の部品ハイライト時に共有部品の別インスタンスをハイライトしてしまうことがある問題を修正しました。  |
| (3) | TransServer<br>- 管理者機能関連<br>- ログ集約プロセスである Kloggr のパフォーマンスを改善しました。(00085401)<br>- インポートするコンポーネントが EX11.0 より前のライセンスで記載されていた場合、エラーメッセージを表示するように対応しました。また、EX11.0 以前のデフォルトのコンポーネントをインポートする場合は、コンポーネントの script 項目を削除してインポートすることで、EX11.0 のライセンスに更新されるように対応しました。<br>- その他<br>- TransServer のパッチインストールに対応しました。<br>- 不具合修正<br>- 複数の値を設定可能なコンポーネントパラメーターが入力必須でない場合、値を入力しないとジョブ投入できない問題を修正しました。(00084543)<br>- Administrators に所属していないユーザーが組み込みページにアクセスした際に、アクセス権を所有していてもアクセスが拒否されてしまう問題を修正しました。(00086205)<br>- TransServer の言語設定がドイツ語または中国語のとき、PMI Checker コンポーネントの表示名および説明が表示されない問題を修正しました。<br>- シナリオ編集でコンポーネントテンプレートを変更した際に、サブコンポーネントの内容が残る問題を修正しました。 |

#### 3.3. Component 製品

- |     |   |
|-----|---|
| (1) | CATIA V5 (Plug-in) Importer<br>- アセンブリーモデル中のパートの PMI の関連要素が座標系のとき、正しく変換されない場合がある問題を修正しました。(00085383)<br>- 特定モデルの変換で、溶接フィーチャーが正しく変換されない問題を修正しました。(00085489)<br>- 特定モデルの変換で、寸法線のポリラインが一部欠落する問題を修正しました。(00085659)<br>- モデルが Basic Multilingual Plane 外の文字を含む場合に不正な ENF が出力される問題を修正しました。(00085684)<br>- 特定モデルの変換で、角度寸法の表示桁数が正しく変換されない問題を修正しました。 |
| (2) | CATIA V5 (Plug-in) Exporter<br>- 関連要素が 20 を超える幾何公差は変換時間が長くなるため 2 つの関連要素のみを変換していましたが、その上限を 20 から 90 に変更しました。   |
| (3) | 3DEXPERIENCE (Plug-in) Importer<br>- Windows サービスとして動作する WorkerNode での実行を非サポートに変更しました。  |

(4)	<b>3DEXPERIENCE (Plug-in) Exporter</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Windows サービスとして動作する WorkerNode での実行を非サポートに変更しました。</li> <li>- 微小なエッジを関連要素とする PMI の変換に失敗する問題を修正しました。</li> <li>- 円柱面やそのエッジを関連要素とする PMI の変換に失敗する可能性がある問題を修正しました。</li> <li>- PMI を作成する View が維持されないために PMI 変換に失敗する可能性がある問題を修正しました。</li> </ul>
(5)	<b>NX (Plug-in) Importer</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- バルーンの関連要素の変換に対応しました。(00084193)</li> <li>- NX2506 Series 以降の公差記入枠と寸法の PMI 変換において、MBC (モデルベース特性) の変換に対応しました。</li> <li>- NX2506 Series で作成できるようになった ISO 25178-1 の面仕上げの変換に対応しました。</li> <li>- パラメーター「ConvertPmiNameRule」の値に「2 (デフォルト)」を指定して PMI 名を変換するとき、NX でデフォルトで設定された PMI の名前"&lt;タイプ&gt;"が変換する PMI 名として採用された場合は、互いに区別できるよう代わりに"&lt;タイプ&gt; (&lt;インデックス&gt;)"という名前に変換するように改善しました。</li> </ul>
(6)	<b>NX (Plug-in) Exporter</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 平面とそれと平行な要素間の長さ寸法の変換において、参照要素が維持されないことがある問題を修正しました。</li> </ul>
(7)	<b>SOLIDWORKS (Plug-in) Importer</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- EX11.0 において変換時間がモデルにより約 1.5~2 倍に増加する問題を修正しました。(00086274)</li> <li>- アクティブなコンフィギュレーションで有効にならない (表示データを持たない) PMI の変換をスキップするように対応しました。</li> <li>- 特定モデルの変換で引出線の変換に失敗した場合に、3D ビュー適用時の PMI の表示状態が正しく変換されない問題を修正しました。</li> </ul>
(8)	<b>SOLIDWORKS (Plug-in) Exporter</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 幾何公差の上付き文字と下付き文字の変換に対応しました。</li> <li>- 入力 ENF サイズが 100MB 以上、もしくは環境変数「ELY_FBT_SW_ENABLE_SERVER=1」を設定している場合に 3D ビューの変換に失敗する問題を修正しました。</li> <li>- 特定のケースにおいて単独線への関連を維持したまま寸法を変換できるように対応しました。</li> <li>- パラメーター「ConvertIsolatedCurve」の値に「1」を指定すると、周期曲線のスケッチ要素の作成に失敗する問題を修正しました。</li> <li>- 角度寸法の変換において、寸法許容差の値が正しく変換されない問題を修正しました。</li> </ul>
(9)	<b>Solid Edge (Plug-in) Importer</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 特定モデルの変換で、作図補助要素のボディの表示状態が正しく変換されない問題を修正しました。</li> </ul>
(10)	<b>STEP (Standalone) Importer</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 補助形状要素に含まれる単独点の変換に対応しました。(00082740)</li> <li>- STEP を介した CATIA V5 のループバック変換において、平面の名前の変換に対応しました。(00083960)</li> <li>- STEP 規約に違反する文字コードが使用されているモデルに対する変換ログメッセージを改善しました。(00085057)</li> <li>- パートのカメラや PMI から、別パートの要素を不正に参照するアセンブリーモデルの変換処理を改善しました。(00085592)</li> <li>- 寸法線の矢先シンボルの変換に対応しました。</li> <li>- LeadingZero (寸法数値の先頭ゼロ表示) と TrailingZero (寸法数値の末尾ゼロ表示) の変換仕様を改善し、ENF to STEP to ENF のループバック変換で小数点以下の表示が維持されるように対応しました。</li> </ul>
(11)	<b>STEP (Standalone) Exporter</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- STEP を介した CATIA V5 のループバック変換において、平面の名前の変換に対応しました。(00083960)</li> <li>- 寸法線の矢先シンボルの変換に対応しました。</li> <li>- LeadingZero (寸法数値の先頭ゼロ表示) と TrailingZero (寸法数値の末尾ゼロ表示) の変換仕様を改善し、ENF to STEP to ENF のループバック変換で小数点以下の表示が維持されるように対応しました。</li> <li>- 幾何公差に接続したデータムの引出線が欠落することがある問題を修正しました。</li> </ul>

<p>(12) JT (Standalone) Importer</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 特定モデルの変換で、インスタンス行列に鏡像行列が指定されている場合に、パートを正しい配置とサイズに変換できないことがある問題を修正しました。(00085720)</li> <li>- 特定モデルの変換で、インスタンス行列が未定義の場合に、パートを正しいサイズに変換できないことがある問題を修正しました。(00086113)</li> <li>- PMI 変換において、JIS や ISO 等の規格の変換に対応しました。</li> <li>- 寸法引出線が非表示の場合の寸法引出線定義を厳密化しました。これにより、JT を経由した Native CAD への寸法変換時に、関連要素の選択に失敗する問題が一部解消されます。</li> <li>- PMI が、同じ PMI に対し関連要素でもあり Stack もしていた場合に、Stack 情報が失われる問題を修正しました。</li> </ul>
<p>(13) JT (Standalone) Exporter</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- PMI 変換において、JIS や ISO 等の規格の変換に対応しました。</li> <li>- 寸法引出線が非表示の場合の寸法引出線定義を厳密化しました。これにより、JT を経由した Native CAD への寸法変換時に、関連要素の選択に失敗する問題が一部解消されます。</li> <li>- PMI が複数の関連要素を持つ場合に、モデル依存で引出線の端点と関連要素が不整合となる問題を修正しました。これにより、JT を経由した Native CAD への変換時においても、引出線の設計意図を維持しやすくなります。</li> </ul>
<p>(14) QIF (Standalone) Importer</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- NoteFlag の変換に対応しました。(00084066, 00084628)</li> <li>- モデルビューごとに設定されたフェースの色の変換に対応しました。</li> <li>- 幾何公差と寸法の MBC (モデルベース特性) に含まれる重要度の変換に対応しました。</li> </ul>
<p>(15) QIF (Standalone) Exporter</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- NoteFlag の変換に対応しました。(00084066, 00084628)</li> <li>- Note の関連要素が PolyWorks にインポートされない問題を修正しました。(00085597)</li> <li>- 単独線、単独点の変換に対応しました。</li> <li>- QIF のヘッダーにアプリケーション名やバージョン等の情報を出力するように対応しました。</li> </ul>
<p>(16) XPDMXML (Standalone) Importer</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 3DEXPERIENCE 上で表示されるアセンブリーツリーの順番を維持して変換するように改善しました。</li> <li>- ProductStructure 配下の ResourceStructure の変換に対応しました。</li> <li>- XPDMXML から ENF を介して XPDMXML へ再変換した際に、元モデルに存在していた Rep3D および Rep3DInst 要素が再変換されるよう動作を変更しました。</li> </ul>
<p>(17) XPDMXML (Standalone) Exporter</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- XPDMXML から ENF を介して XPDMXML へ再変換した際に、元モデルに存在していた Rep3D および Rep3DInst 要素が再変換されるよう動作を変更しました。</li> </ul>
<p>(18) 3D PDF (Standalone) Exporter</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- モデルビューを適用した際の色や透明度などの外観が、場合によって正しく表示されない問題を修正しました。(00084413)</li> <li>- CAD シンボル表示に関するフォント処理を改善しました。PMI Table Widget および Notes List Widget では CAD シンボル対応フォントを使用し、それ以外の Widget では標準フォントをデフォルトで使用します。</li> <li>- View Selector Widget などに表示されるスナップショットにおいて、画像左下のカメラアイコンを表示しないように対応しました。</li> <li>- #{perpendicularity} が <math>\perp</math> にマッピングされないなど、Unicode と CAD シンボルのマッピングが正しく行われない場合がある問題を修正しました。</li> <li>- 重要な OpenSSL 脆弱性に対応するため、Node.js ランタイムを更新しました。</li> </ul>
<p>(19) HTML (Standalone) Exporter</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Text widget でラベルを指定できるように対応しました。</li> <li>- 画面にフラットな PMI の変換に対応しました。</li> <li>- 3D ビューでのハイライト機能を改善し、適用されているモデルビューで非表示の PMI であっても、選択したフェースに関連する PMI をハイライト表示するように対応しました。PMI のハイライト表示はフェースの選択を解除するまで継続されます。</li> <li>- モデルビューを基準とした表示およびナビゲーションに対応しました。PMI テーブルにはモデルビューで表示の PMI のみが表示されます。また、BOM テーブルで選択したコンポーネントはハイライト表示されますが、他の要素の表示状態は維持されます。</li> </ul>

## (20) DFX Analyzer

- DFM
  - 板金要件の検証項目「2.1 丸穴径」において、板厚比に関するパラメータ"穴径 下限板厚比"を指定できるように対応しました。
- DFAS
  - ニーフォーム形状後方領域における干渉を確認するオプションを追加しました。
  - ヘッドフォームが 1 点で接触する箇所について、曲率半径の大小に問わずハイライト表示できるように対応しました。
- DFA
  - アセンブリーが持つボリュームも検証対象とするように対応しました。
  - 検証項目「1.1 クリアランス」において、タイプ「干渉」のハイライト仕様を変更しました。

## (21) PMI Checker

- 3D PDF 形式のレポートに、Fail および Warning となった検証結果のみを表示するフィルターを追加し、デフォルトで有効となるように対応しました。(00084043)
- モデルビューごとの結果を Inspector で開いた際に表示していた、PMI カテゴリーに関するテーブルを表示しないように変更しました。

## EX11.0.1



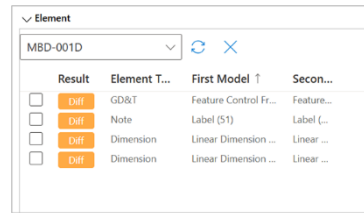
## EX11.0.2



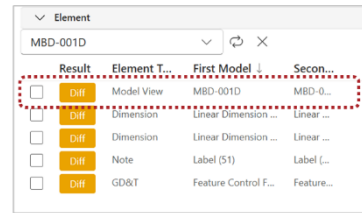
- 寸法を検証対象とする項目において、TED (基準寸法) や参考寸法を検証対象に含めるかをパラメーターファイル (\*.toml) で指定できるように対応しました。
- PMI の視認性を向上させるため、CATIA V5 を入力とするサンプルシナリオを用いて出力する 3D PDF 形式のレポートでは、PMI の色は黒色で表示するように変更しました。
- シナリオファイルの後方互換性を担保するようにしました。また、インストールされている 3D-SUITE Components よりも古いバージョンのシナリオを使用した場合に、Warning をログに出力するように対応しました。
- 検証項目「Unattached PMI without Leader Termination」において、引出線が正しくフェースに接続しているにも関わらず、Fail と判定される問題を修正しました。
- 検証項目「Nominal Value Mismatch within Pattern」において、ドラフトの付いた円筒面が関連要素に含まれる場合に、誤った検証結果になる問題を修正しました。
- 検証項目「Incorrect Relation of Geometric Tolerance and Feature」において、面の輪郭度に対して誤った検証結果になることがある問題を修正しました。

**(22) CAD Validator**

- 比較レポート (3D HTML) において、非表示 PMI が差異確認後も 3D ビューに表示され続ける問題を修正しました。(00081937)
- 比較レポート (3D HTML) において、モデルビューを適用した時には選択したモデルビューを要素リストに表示するように動作を変更しました。



EX11.0



EX11.0.2

- 比較レポート (3D HTML) において、チケットに対する変更やコメント付与を未適用の状態でのレポートを保存しようとした際に、警告を表示するように対応しました。

**(23) Drawing Validator**

- Creo Parametric の比較において、Shaded View の形状比較に対応しました。(00081236)
- NX の比較において、図面上の表のセルが 2 回ずつ比較されてしまう問題を修正しました。(00085736)
- NX の比較において、クロスハッチングの形状差異が過検出される場合がある問題を修正しました。(00085737)

**3.4. Utility Tool****(1) Data Package Studio**

- 3D View Widget および Image Widget を除く全ての Widget で、CAD シンボル対応フォントの使用を指定できるように対応しました。

**4. 特記事項 / 制限事項 / 既知の問題点****4.1. Component 製品****(1) NX (Plug-in) Importer**

- NX 2506 Series で作成できるようになった ISO 25178-1 の面仕上げの変換に以下の制限があります。
  - "筋目方向の記号(e)"の位置が ISO 25178-1 での位置ではなく ISO 2002 での"筋目方向の記号(d)"の位置に変換されます。

**(2) SOLIDWORKS (Plug-in) Exporter**

- パラメーター「ConvertIsolatedCurve」の値に「1(デフォルト)」を指定して単独線の数が多いモデルを SOLIDWORKS 2026 で変換すると、メモリー使用量および変換時間が増加する現象が確認されています。弊社内のテストでは、1 部品内に約 2000 本の単独線が存在するモデルにおいて変換時間が 1.5~2 倍、メモリー使用量が 2~2.5 倍になることが確認されています。

**(3) Drawing Validator**

- NX の比較において、Section View 内のクロスハッチングは比較可能ですが、その他の View で手動作成されたクロスハッチングは比較の対象外となります。

## 5. サポート CAD バージョン一覧

製品	サポート CAD バージョン	
CATIA V5	Plug-in	R33 – <b>R36(V5-6R2026)</b> - SmartLauncher (CAD Plug-in): R33 – <b>R36</b>
CATIA V5	Standalone	Import: R10 – R35(V5-6R2025)   Export: R14, R19 – R35
3DEXPERIENCE	Plug-in	R2023x – <b>R2026x</b> - SmartLauncher (CAD Plug-in): R2023x – <b>R2026x</b>
CATIA V4	Standalone	V4.2.1 – V4.2.5
NX	Plug-in	NX 1926 Series – <b>NX 2512 Series</b> - SmartLauncher (CAD Plug-in): 2212 Series – <b>2512 Series</b> - Drawing Validator: 1926 Series – <b>2512 Series</b>
NX	Standalone	UG10 – <b>NX 2512 Series</b>
Creo Parametric	Plug-in	Creo Parametric 4.0 – 12.4 - SmartLauncher (CAD Plug-in): Creo Parametric 8.0 – 12.4 - Drawing Validator: Creo Parametric 4.0 – 11.0
Creo Parametric	Standalone	Pro/ENGINEER 2000i – <b>Creo Parametric 12.4</b>
NX I-deas	Plug-in	6.9
SOLIDWORKS	Plug-in	2022 – <b>2026</b> - SmartLauncher (CAD Plug-in): 2022 – <b>2026</b> - Drawing Validator: 2022 – <b>2026</b>
SOLIDWORKS	Standalone	2006
Creo Elements/Direct	Plug-in	Creo Elements/Direct 20.4 – 20.8
Autodesk Inventor	Plug-in	2023 – 2026 - Drawing Validator: 2023 – <b>2026</b>
Solid Edge	Plug-in	2022 – <b>2026</b>
CADmeister	Standalone	V4.0 – 2024
iCAD SX	Standalone	V7L1 – <b>V8L4</b>
Parasolid	Standalone	V7 – V37.0
ACIS	Standalone	R6 – R34
STEP	Standalone	AP203, AP214, AP242 (ed1/ed2/ed3/ed4)
JT	Standalone	Import: v6.4 – v10.10   Export: v9.0 – v10.10
QIF	Standalone	2.1, 3.0
3DXML	Standalone	R2010x – <b>R2026x</b>
IGES	Standalone	5.2, 5.3
DWG / DXF	Standalone	-
STEP XML	Standalone	AP242 edition1 (IS), AP242 edition1 (TC), AP242 edition3, AP242 edition4
PLM XML	Standalone	-
XPDMXML	Standalone	-
3D PDF	Standalone	-
HTML	Standalone	-
Creo View	Standalone	Creo View 1.0 以降
XVL	Standalone	P-XVL(V3), V-XVL(V5, V7, V9), U-XVL(V10, V11)
STL	Standalone	-
OBJ	Standalone	-
VRML	Standalone	1.0, 2.0
Nastran	Standalone	-
Point Cloud	Standalone	-

※サポート CAD バージョンに関する詳細は 3D-SUITE\_Requirement\_ja.pdf を参照。

※赤文字は EX11.0.2 で追加されたサポート。

## 6. 著作権とライセンス

サードパーティー製ソフトウェアおよびオープンソースソフトウェアの著作権とライセンスについては、以下のファイルをご参照ください。

<3D-SUITE Base Package>¥doc¥LICENSE¥third\_party\_notices.html

本コンテンツに関わる著作権は株式会社エリジオンもしくは原権利者に帰属しています。  
著作権者の承諾なしに無断で改変、複製、転載、再配布、転送、公衆送信、販売、貸与などの  
行為をすることは禁じられています。